

令和7年6月26日(木)

第1回 家庭教育学級(資料)

印西市立小林北小学校

校長 岡本 晃郎(あきお)

1 プロフィール

昭和42年7月生まれ 今年58歳

未年 蟹座 O型 2人兄弟の長男

東京都生誕⇒千葉市(小1まで)⇒佐倉市(結婚まで)⇒香取市在住……都落ち?

成田市⇒印西市⇒成田市⇒印西市……の教員生活

家族構成=妻・三男(高卒⇒大学前浪人中)……6分の3人家族 = 一家離散?

(・長男(既婚⇒神奈川県内の中学校教員。嫁と孫2人。))

(・長女(既婚⇒都内の環境関係企業。夫と猫2匹。))

(・次男(未婚⇒神奈川県内の住宅販売企業。猫1匹とフェレット1匹。))

2 「これまで6年間の家庭教育に敬意を表します……」

教師の子どもだから……私は放置と、妻の使命感で子育て。

親ができること……心を強く育てること。選択権を与えること。



学校で配られた「空手」のチラシ

「楽しい空手? 勝つ空手? どちらにする?」

中学校までは空手とボーイスカウト⇒土日も家族全員で外出

⇒長女の学校でいじめ問題……

高校は自由に⇒全員が空手部に⇒長男の喧嘩

受験⇒目標があれば勝手に始める/空手の時間を勉強時間に転換

大学⇒ダンス、ダブルダッチ、空手、浪人中(選択の末の浪人)

3 親の役割

5年後……反抗期⇒どんな親でありたいのか?

上の3人は反抗期なし(「上には上がいる」ことを知れた)

家族で同じ目標(空手の大会で優勝したら寿司が食べられる)

皆に育てられた(空手の師範、関係の父母、ライバル……)

15年後……成人・就職⇒どんな親子になっていくのか?

父はライバルをして先を進む。子は父を乗り越えていく。

母は友達(?)として寄り添う。

4 まとめ ～自信を持って子育てを～

「子供は親の背中を見て育つ」「子は親の鏡」子は学校で保護者と同じ言動をする

「三つ子の魂 百まで」 妻が、人としての基礎・基本を教えた

我が子の人権の1つとして…… 私は、選択する権利を与えた

⇒(最初で最後の)反抗期を楽しむ真っ最中